

Linux 用プリンタードライバー操作ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、Linux 用プリンタードライバーをコンピューターにインストールする方法と、印刷時に設定できる項目について記載しています。ご使用にあたっては、必ず本書をお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、本書の内容は、ご使用になるコンピューターや Linux OS の基本的な知識、操作方法、および機器（*）の操作方法を習得されていることを前提に説明しています。機器の操作方法については、機器に付属のマニュアルをお読みください。

（*）本書では、対応するハードウェア製品のことを、「機器」と総称します。

本書が対応するハードウェア製品については、[readme.txt](#) を参照してください。

日本電気株式会社

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
The Common UNIX Printing System、CUPS と CUPS ロゴは、Easy Software Products の商標です。
Turbolinux、ターボリナックスの名称およびロゴは、ターボリナックス株式会社の登録商標または商標です。
Red Hat、RPM は、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
SUSE は Novell Inc. の一部門である Novell SUSE LINUX Products GmbH の登録商標です。
MIRACLE LINUX の名称およびロゴは、ミラクル・リナックス株式会社が使用権許諾を受けている登録商標です。
Asianux の名称は、ミラクル・リナックス株式会社の日本における登録商標です。
NEC、NEC ロゴは、日本電気株式会社の登録商標です。
Adobe、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
MULTIWRITER、CentreWare は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標、または商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までにご連絡ください。

Linux 用プリンタドライバ使用許諾契約書

Linux 用プリンタドライバ(以下ソフトウェアといいます。)をご利用になる前に、以下の「使用許諾条件」を必ずお読みください。使用許諾条件に同意された場合のみ、ソフトウェアを使用することができます。

■ 使用許諾条件

1. 著作権の帰属

ソフトウェアの著作権およびすべての知的財産権は、富士ゼロックス株式会社(以下当社といいます。)ならびに原権利者に帰属します。

2. 使用権の許諾

当社はお客様に対し、各ソフトウェアに対応する当社製品を利用する目的で、日本国内においてのみ非独占的に使用することができる譲渡不能の権利を許諾します。

3. 注意制限事項

ソフトウェアを使用するにあたっては、各ソフトウェアに関して当社が本サービスサイトで明記する注意制限事項を遵守してください。

4. 利用制限事項

本契約において明示的に許諾されている場合を除き、お客様は、ソフトウェアについて、記録媒体への複製、公衆送信、第三者に対する譲渡、頒布、販売、貸与、サブライセンスまたは移転することはできません。また、ソフトウェアのうち実行可能形式またはオブジェクトコードで提供されたものは、ソフトウェアの全部または一部を修正または改変し、あるいはリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルおよびその他の方法で解析してはならないものとします。ただし、ソフトウェアのうち GNU General Public License に基づいて提供されるモジュールについては、その特約に従うものとします。

5. 契約有効期間

本契約は、お客様がソフトウェアを搭載した時から効力を発し、お客様が本契約を解除してソフトウェアを廃棄するまで有効とします。本契約は、お客様が本契約に違反した場合には自動的に解除されます。その場合、お客様はただちにソフトウェアを廃棄しなければなりません。

6. 保証の免責

ソフトウェアは現状有姿で提供されるものであり、当社は、いかなる動作保証もしておりません。当社およびそのライセンサー、その他ソフトウェアの改変者および再頒布者は、ソフトウェアに関して、明示的または黙示的を問わず、第三者の権利を侵害しないことや、ソフトウェアの性能および品質上の問題に起因して発生する問題、商品性の保証、特定の目的に対する適合性に関する黙示の保証を含む一切の保証責任を負いません。ソフトウェアの導入および運用等は、お客様ご自身の責任において行なってください。

7. 損害賠償責任の制限

当社、その子会社、関連会社、それらの販売代理店、特約店およびソフトウェアの原権利者、その他プログラムの改変者および再頒布者は、ソフトウェアの誤作動、データの消失、他のプログラムと一緒に動作しないといった不具合など、プログラムの使用に関連して生じた直接損害、間接損害、特別損害、派生的損害、懲罰的損害その他一切の損害について、損害の可能性について予測可能であったか知っていたかを問わず、賠償責任を負いません。

8. 輸出規制

お客様は、該当国の全ての輸出管理法、規制および規則を遵守するものとし、当該輸出管理法、規制および規則に違反して、または必要な認可等を得ることなくソフトウェアを直接または間接に輸出または再輸出してはなりません。

9. 準拠法、管轄および完全な合意

本契約は日本国法を準拠法とし、本契約に関する訴訟は東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。本契約は、ソフトウェアに関するお客様と当社の間の完全かつ唯一の合意であり、口頭または書面にかかわらず、ソフトウェアに関してお客様と当社の間でなされたすべての事前の合意に優先します。

10. GPL に基づき許諾されるフリーソフトウェア・モジュール

ソフトウェアは、GNU General Public License Version 2 に基づいて許諾される以下のフリーソフトウェア・モジュールを含んでいます。

< GPL に基づき許諾されるモジュール >

/usr/lib/cups/filter/pstopdfnc

/usr/lib/cups/filter/pdftopdfnc

/usr/lib/cups/filter/pdftopjInc

かかるモジュールはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License Version 2 または当該ライセンス条件の改訂版が定める条件に従って、かかるモジュールを再頒布または変更することができます。

かかるモジュールは有用と思いますが、頒布にあたっては、当社は、いかなる保証も行ないません。後に GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 の全文を記載します。詳細についてはそれをお読みください。

[「GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991」\(P.24\)](#)

目次

Linux 用プリンタドライバ使用許諾契約書	2
1. プリンタードライバーをインストールする前に.....	5
動作を確認した環境	5
ネットワーク環境の確認	5
2. プリンタードライバーのインストール	6
インストーラーをダウンロードする	6
プリンタードライバーをインストール/アップグレードする	6
印刷キューを作成する	8
3. プリンタードライバーのアンインストール	14
プリンタードライバーをアンインストールする	14
印刷キューを削除する	15
4. 印刷機能の設定	17
印刷設定ユーティリティで設定する	17
アプリケーションのプリンター設定画面で設定する.....	18
5. 印刷ユーティリティの設定項目一覧.....	19
6. エラーメッセージ一覧.....	21
7. 想定される不具合	22
GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991	24

本書の表記

本文中では、説明する内容によって、次の表記を使用しています。

注記	注意事項を記述しています。
補足	補足事項を記述しています。
参照	参照先を記述しています。
「 」	メッセージの表記、ファイル名、設定値、設定文字、入力例を表しています。 また、参照する章項のタイトルを表しています。
『 』	参照するマニュアルを表しています。
[]	ディスプレイや操作パネルに表示される項目、メニュー、ボタンなどを表 しています。
	実行時に変わる名前や値を表しています。

本書では、Turbolinux 10 F... の操作を例に説明しています。Turbolinux 10 F... 以外をお使
いの方は、表示が異なることがあります。

本書では、MultiWriter 2900C を使用する場合を例に説明しています。MultiWriter 2900C 以
外をお使いの場合は、表示が異なります。

1. プリンタードライバーをインストールする前に

プリンタードライバーをインストールする前に、次の内容を確認します。

動作を確認した環境

Linux 用プリンタードライバーの動作を確認した環境は、次のとおりです。本プリンタードライバーは、印刷システムとして CUPS (Common UNIX Printing System) を使用します。

■ ディストリビューションと CUPS のバージョン (*1)

RedHat Enterprise Linux WS Version 4 : CUPS Version 1.1.22rc1

Turbolinux 10 F... : CUPS Version 1.1.19

SUSE Linux 9.3 Professional : CUPS Version 1.1.23

MIRACLE LINUX Version 3.0 - Asianux Inside : CUPS Version 1.1.17

(*1): 最新の動作環境については、readme.txt を参照してください。

■ ハードウェア環境

PC 本体

× 86 互換の 32-bit CPU を搭載し、各ディストリビューションが動作するコンピューター
メモリー容量

ディストリビューションが推奨する仕様に準拠

(Turbolinux の場合は 512MB 以上、RedHat Enterprise Linux の場合は 256MB 以上)

■ インターフェイス

パラレル

USB (*2)

Ethernet (対応プロトコル : LPR (TCP/IP))

(*2): USB インターフェイスを標準装備していることが必要です (ただし、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません)。

ネットワーク環境の確認

機器を Ethernet 接続によってネットワーク環境 (LPR プロトコル) で使用する場合は、プリンタードライバーをインストールする前に、次の設定を確認してください。

コンピューター側	機器側
IP アドレスの設定、および TCP/IP 環境を使用するための設定がされていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ IP アドレスが設定されていること ・ LPD プロトコルが起動されていること (工場出荷時: 起動)

参照

- 機器側の設定については、機能設定リストを印刷することで確認できます。機能設定リストについては、機器に付属のマニュアルを参照してください。
- コンピューター側の設定方法については、コンピューターに付属のマニュアルを参照してください。

2. プリンタードライバーのインストール

本機では、Linux 用プリンタードライバーをコンピューターにインストールするためのインストーラー（RPM パッケージ）を用意しています。このインストーラーを使用して、プリンタードライバーのインストール、およびアップグレードができます。

プリンタードライバーのインストール後は、印刷キューを作成します。

インストーラーをダウンロードする

インストーラー（RPM パッケージ）は、次の 2 種類があります。これらのファイルは、弊社ホームページから、お使いのコンピューターにダウンロードできます。

インストーラー	ファイル名	説明
プリンタードライバー	nclinuxprint-x.x.x-1.i386.rpm	Linux 用プリンタードライバー本体のソフトウェアです。
印刷設定ユーティリティ	nclinuxprintutil-x.x.x-1.i386.rpm	Linux 用プリンタードライバーの印刷機能を設定するユーティリティです。

補足

- x.x.x には、インストーラーのバージョンが入ります。

弊社のホームページの URL は、次のとおりです。なお、通信費用はおお客様の負担になりますので、ご了承ください。

<http://nec8.com/>

プリンタードライバーをインストール / アップグレードする

ターミナルソフトのコマンドラインから RPM パッケージを指定して、インストールまたはアップグレードします。

補足

- ここでは、プリンタードライバーを新規にインストールする場合を例に説明します。すでにインストールされているプリンタードライバーをアップグレードする場合は、手順 3. および 5. で、rpm コマンドのオプションの「-ivh」の代わりに「-Uvh」を指定してください。

1. ターミナルを起動し、スーパーユーザーでログインします。

補足

- ターミナルの起動方法は、ディストリビューションによって異なります。各ディストリビューションのマニュアルを参照してください。

2. 必要に応じて、RPM パッケージが保存されているディレクトリーにカレントディレクトリーを移動します。

補足

- RPM パッケージが保存されているディレクトリーと異なるディレクトリーで作業する場合は、手順 3. および 5. で、RPM パッケージまでのパスを指定してください。

3. プリンタードライバー本体をインストールするために、次のコマンドを入力します (x.x.x には、インストーラーのバージョンを指定)。

```
# rpm -ivh nclinuxprint-x.x.x-1.i386.rpm
```

次のような画面になり、プリンタードライバー本体のインストールが終了します。

```
# rpm -ivh nclinuxprint-x.x.x-1.i386.rpm
Preparing... ##### [100%]
   1:nclinuxprint ##### [100%]
#
```

4. CUPS をリロード、およびリスタートするために、次のコマンドを入力します。

```
# /etc/init.d/cups reload
# /etc/init.d/cups restart
```

補足

- リロードおよびリスタートコマンドは、ディストリビューションによっては、次のように入力する場合があります。詳細は、各ディストリビューションのマニュアルを参照してください。

```
# /etc/rc.d/init.d/cups reload
# /etc/rc.d/init.d/cups restart
```

5. 印刷設定ユーティリティをインストールするために、次のコマンドを入力します (x.x.x には、インストーラーのバージョンを指定)。

```
# rpm -ivh nclinuxprintutil-x.x.x-1.i386.rpm
```

次のような画面になり、印刷設定ユーティリティのインストールが終了します。

```
# rpm -ivh nclinuxprintutil-x.x.x-1.i386.rpm
Preparing... ##### [100%]
   1:nclinuxprintutil ##### [100%]
#
```

次に、SUSE (CUPS Version1.1.23 以降) を使用している場合は「CUPS のパスワードの設定 (SUSE の場合のみ)」(次項) に、それ以外の場合は「印刷キューを作成する」(P.8) に進みます。

CUPS のパスワードの設定 (SUSE の場合のみ)

SUSE (CUPS Version1.1.23 以降) を使用している場合は、あらかじめ、ターミナルウィンドウ上で次のコマンドを実行し、CUPS のパスワードを設定します。

1. ターミナルを起動し、スーパーユーザーでログインします。

補足

- ターミナルの起動方法は、ディストリビューションによって異なります。各ディストリビューションのマニュアルを参照してください。

2. 次のコマンドを入力します。

```
# lppasswd -g sys -a root
```

3. CUPS のパスワードを入力します。

```
Enter Password:  
Enter Password again:  
#exit  
exit
```

次に、「印刷キューを作成する」(次項)に進みます。

「印刷キューを作成する」の手順 5. でパスワードを求められた場合は、ここで設定したパスワードを入力します。

印刷キューを作成する

Linux 環境で機器を使用するためには、プリンタードライバーをインストールしたあと、印刷キューを作成する必要があります。

補足

- ここでは、Web ブラウザーを使って CUPS Web 管理サイト (<http://localhost:631/>) から印刷キューを作成する手順を説明します。

1. 機器の電源が入っていることを確認します。
パラレルおよび USB 接続の場合は、インターフェースケーブルでコンピューターと機器が正しく接続されていることも確認します。
2. Web ブラウザーを起動し、アドレス入力欄に次の URL を入力して、CUPS Web 管理サイトにアクセスします。

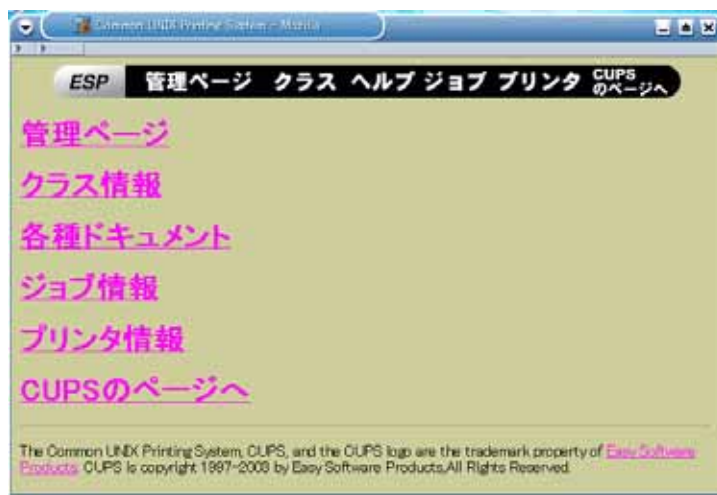
```
http://localhost:631/
```

補足

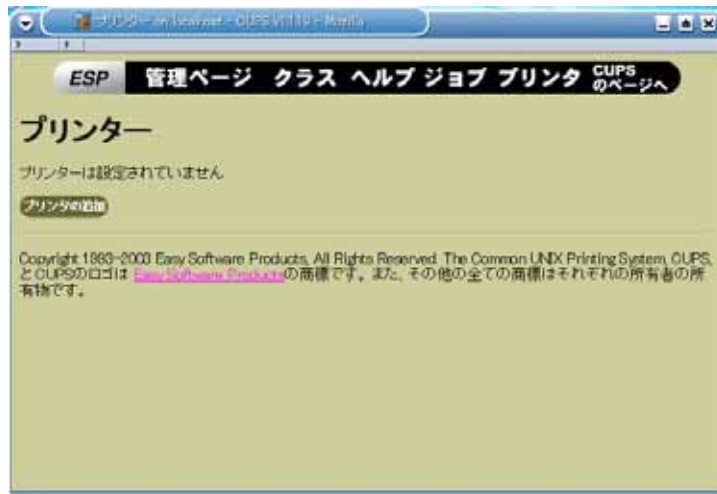
- お使いのディストリビューションによって、画面の文字が化けて表示される場合があります。その場合は、[表示] メニューから [文字コード] > [日本語 (EUC-JP)] を選択してください。この操作は、ページが切り替わるたびに必要です。

CUPS Web 管理サイトが表示されます。

3. [プリンタ] または [プリンタ情報] をクリックします。



4. [プリンタの追加] をクリックします。



5. ユーザー名とパスワードの入力を求められた場合は、管理者用のユーザー名 (root) とパスワード (SUSE の場合は CUPS のパスワード) を入力します。



6. [プリンタ名] [設置場所] [説明] の各項目を入力し、[続ける] をクリックします。



補足

- [設置場所] と [説明] は、任意の入力項目です。

7. 接続形態に応じて、次の手順に従ってプリンターを追加します。
- 「LPR 接続の場合」(P.10)
 - 「USB またはパラレル接続の場合」(P.12)

■LPR 接続の場合

1. [デバイス] メニューから [LPD/LPR Host or Printer] を選択し、[続ける] をクリックします。



2. [URI] に「lpd:// プリンターの IP アドレス / キュー名 」を入力し、[続ける] をクリックします。
次は、プリンターの IP アドレスが「192.168.1.100」で、キュー名が「queue_1」の例です。

補足

- キュー名は、任意の名前を付けてください。



3. [ベンダ名]で[NEC]を選択し、[続ける]をクリックします。



4. [機種名]で[NEC MultiWriter PDF Printer Driver for Linux (en)]を選択し、[続ける]をクリックします。



5. 次のメッセージが画面に表示されることを確認します。



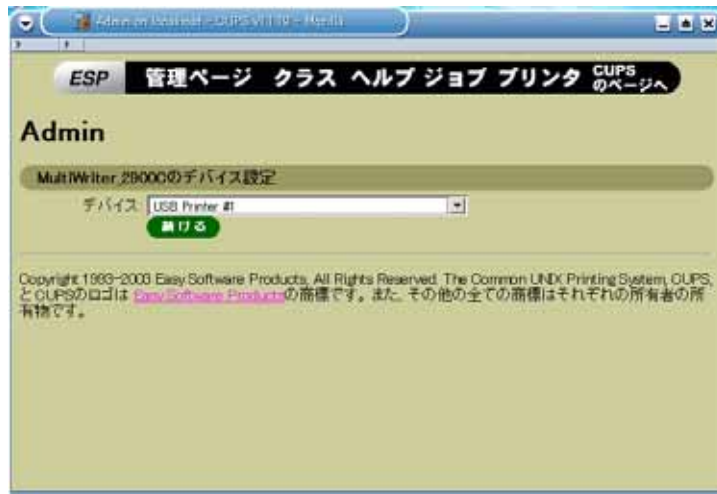
■USB またはパラレル接続の場合

1. [デバイス] メニューから、接続方法に応じて [USB Printer #1] または [Parallel Port #1] を選択し、[続ける] をクリックします。

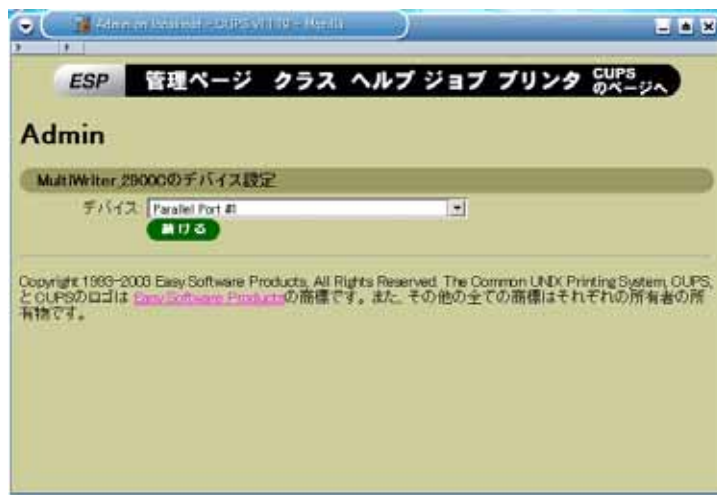
補足

- USB またはパラレルケーブルで接続された機器の電源が入っている状態でコンピューターを起動した場合は、[USB Printer #1] または [Parallel Port #1] の後ろに機種名が表示されます。こちらを選択してください。
- # 1 の 1 は、使用環境によって数値が異なります。

USB 接続の場合



パラレル接続の場合



2. [ベンダ名]で[NEC]を選択し、[続ける]をクリックします。



3. [機種名]で[NEC MultiWriter PDF Printer Driver for Linux (en)]を選択し、[続ける]をクリックします。



4. 次のメッセージが画面に表示されることを確認します。



3. プリンタードライバのアンインストール

前節で説明したインストーラー（RPM パッケージ）を使用して、インストールされているプリンタードライバをアンインストールします。

プリンタードライバをアンインストールしたあとは、印刷キューも削除します。

プリンタードライバをアンインストールする

ターミナルソフトのコマンドラインから RPM パッケージを指定して、アンインストールします。

1. ターミナルを起動し、スーパーユーザーでログインします。

補足

- ターミナルの起動方法は、ディストリビューションによって異なります。各ディストリビューションのマニュアルを参照してください。

2. 必要に応じて、RPM パッケージが保存されているディレクトリーにカレントディレクトリーを移動します。

補足

- RPM パッケージが保存されているディレクトリーと異なるディレクトリーで作業する場合は、手順 3. および 4. で、RPM パッケージまでのパスを指定してください。

3. プリンタードライバ本体をアンインストールするために、次のコマンドを入力します（x.x.x には、インストーラーのバージョンを指定）。

```
# rpm -e nclinuxprint-x.x.x-1
```

4. 印刷設定ユーティリティをアンインストールするために、次のコマンドを入力します（x.x.x には、インストーラーのバージョンを指定）。

```
# rpm -e nclinuxprintutil-x.x.x-1
```

以上でプリンタードライバがアンインストールされます。
次に、「印刷キューを削除する」（P.15）に進みます。

印刷キューを削除する

プリンタードライバを削除したあとは、不要な印刷キューも削除します。

補足

- ここでは、Web ブラウザーを使って CUPS Web 管理サイト (<http://localhost:631/>) から印刷キューを削除する手順を説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレス入力欄に次の URL を入力して、CUPS Web 管理サイトにアクセスします。

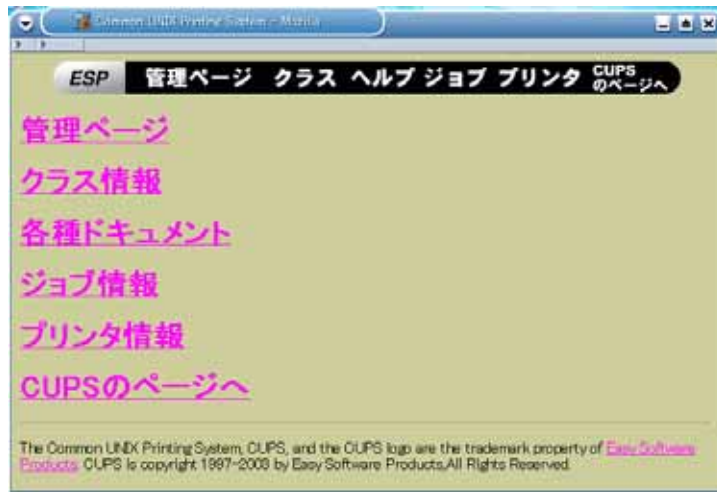
<http://localhost:631/>

補足

- お使いのディストリビューションによって、画面の文字が化けて表示される場合があります。その場合は、[表示] メニューから [文字コード] > [日本語 (EUC-JP)] を選択してください。この操作は、ページが切り替わるたびに必要です。

CUPS Web 管理サイトが表示されます。

2. [プリンタ] または [プリンタ情報] をクリックします。



3. 削除するプリンター (印刷キュー) の下の [プリンタの削除] をクリックします。



3. プリンタードライバーのアンインストール

4. 確認メッセージが表示されるので、[続ける] をクリックします。



5. 次のメッセージが画面に表示されることを確認します。



4. 印刷機能の設定

機器で印刷するときの印刷機能を設定します。次の2つの方法があります。

印刷設定ユーティリティで設定する

アプリケーションのプリンター設定画面で設定する

印刷設定ユーティリティで設定する

印刷設定ユーティリティを使って、印刷機能を設定します。設定は、プリンター（印刷キュー）ごとに行います。

1. ターミナルを起動します。

補足

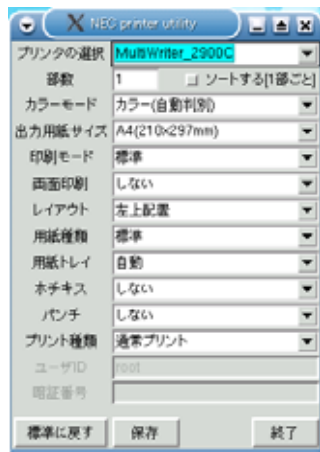
- ・ターミナルの起動方法は、ディストリビューションによって異なります。各ディストリビューションのマニュアルを参照してください。

2. スーパーユーザー、または一般ユーザーでログインし、次のコマンドを入力します。

```
# /usr/bin/nclputil
```

印刷ユーティリティが起動します。

3. [プリンタの選択] から、プリンター（印刷キュー）を選択します。



4. 各項目を設定します。

参照

- ・各項目については、「印刷ユーティリティの設定項目一覧」(P.19)を参照してください。

5. 設定が終了したら、[保存] をクリックします。

印刷機能が保存されます。

6. [終了] をクリックします。

アプリケーションのプリンター設定画面で設定する

アプリケーションのプリンター設定画面から、印刷機能を設定します。

ここでは、KWrite を使用した場合を例に説明します。

補足

- プリンター設定画面を表示する手順は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
[印刷] ダイアログボックスが表示されます。
2. [現在の印刷システム] で [CUPS (Common UNIX Print System)] を選択してから、
使用するプリンター (印刷キュー) を選択します。



3. [プロパティ] をクリックします。
4. 表示されたプリンター設定画面で各項目を設定して、[OK] をクリックします。



補足

- アプリケーションのプリンター設定画面では、設定できない項目もあります。この場合は、印刷設定ユーティリティを利用してください。印刷設定ユーティリティについては、「印刷設定ユーティリティで設定する」(P.17) を参照してください。

5. 印刷ユーティリティの設定項目一覧

ここでは、印刷ユーティリティで設定できる項目について説明します。

補足

(*) が付いた項目は、別途オプションが必要な場合や、お使いの機種では使用できない場合があります。詳細は、お使いの機器に付属のマニュアルを参照してください。

表示項目	説明
部数	印刷する部数を指定します。 [ソートする [1 部ごと]] をチェックすると、1 部ごとにソートして印刷されます。
カラーモード	印刷するカラーモードを指定します。 [カラー (自動判別)] を選択すると、各ページについて、カラーか白黒かを自動的に判別して印刷されます。 [白黒] を選択すると、白黒で印刷されます。
出力用紙サイズ (*)	出力する用紙のサイズを指定します。 [自動] を選択すると、原稿サイズに最も近い定型用紙に印刷されます。お使いの機種が対応していない用紙サイズを選択した場合は、印刷されません。
印刷モード	印刷の画質と速さを指定します。 [標準] を選択すると、通常の画質と印刷速度で印刷されます。 [高画質] を選択すると、画質は高くなりますが、印刷速度が遅くなります。 [高速] を選択すると、印刷速度は速くなりますが、画質が低くなります。
両面印刷	両面印刷を設定します。 [長辺とじ] を選択すると、用紙の長辺を軸に、おもてとうらのイメージの上方向が一致するように印刷されます。 [短辺とじ] を選択すると、用紙の短辺を軸に、おもてとうらのイメージの上方向が一致するように印刷されます。
レイアウト	印刷レイアウトを指定します。 [自動倍率] を選択すると、[出力用紙サイズ] で指定した用紙サイズに、自動で拡大 / 縮小して印刷されます。 [左上配置] を選択すると、用紙左上を基準に配置して印刷されます。 [中央配置] を選択すると、用紙中央を基準に配置して印刷されます。 [小冊子] を選択すると、印刷結果がカタログや冊子のようにページ割り付けられて、両面に印刷されます。この設定は、[出力用紙サイズ] が [A4] か [自動] の場合にだけ有効です。 [2 アップ] を選択すると、1 枚の用紙に 2 ページ分の原稿を割り付けて印刷されます。用紙サイズは A4 になります。 [4 アップ] を選択すると、1 枚の用紙に 4 ページ分の原稿を割り付けて印刷されます。用紙サイズは A4 になります。
用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。 [標準] を選択すると、普通紙に印刷されます。 [プリンタの設定] を選択すると、[用紙トレイ] で選択したトレイに、操作パネルで指定した用紙の種類で印刷されます。
用紙トレイ (*)	給紙する用紙のトレイを選択します。 [自動] を選択すると、[出力用紙サイズ] で指定した用紙がセットされているトレイを自動で選択します。 お使いの機種が対応していない用紙トレイを選択した場合は、印刷されません。
ホチキス (*)	ホチキスどめをするかどうかを指定します。 ホチキスどめをする場合は、位置を選択します。

5. 印刷ユーティリティの設定項目一覧

表示項目	説明
パンチ (*)	パンチ穴を開けるかどうかを指定します。 [する] を選択すると、原稿の左側にパンチ穴を開けます。
プリント種類	プリントの種類を選択します。 [通常プリント] のほかに、[セキュリティー] と [サンプル] が選択できます。 セキュリティープリントとは、印刷を指示したデータを一時的に機器内に蓄積させて、印刷したいときに、機器側の指示で出力させる機能です。機密文書などを印刷する場合に利用できます。 サンプルプリントとは、複数部数を出力するときに、まず 1 部だけ出力し、出力されたプリントを確認してから、残りの部数を機器側の指示で出力させる機能です。
ユーザー ID	[プリント種類] で [セキュリティー] または [サンプル] を選択した場合に、ユーザー ID を入力します。 [通常プリント] を選択した場合は、入力できません。
暗証番号	[プリント種類] で [セキュリティー] を選択した場合に、暗証番号を入力します。 [通常プリント] [サンプル] を選択した場合は、入力できません。

6. エラーメッセージ一覧

印刷したときに、なんらかの原因で機器にデータを転送できない場合は、CUPS の Web 管理サイトの [プリンタ情報] で、機器の [プリンターの状態] に表示されるメッセージを確認してください。

コンピューター側では、次のメッセージ（例）が表示されます。エラーメッセージが表示される原因が同じでも、機器とコンピューターの接続方法によって、表示されるメッセージは異なります。

参照

- 機器の操作パネルに表示されたメッセージについては、機器に付属のマニュアルを参照してください。

メッセージ（例）	接続方法	状態 / 原因 / 処置
Attempting to connect to host xxx.xxx.xxx.xxx for printer *** (xxx.xxx.xxx.xxx には IP アドレス、*** にはプリンターのキュー名が表示されます) と表示されたあと、しばらくして "Unable to connect to printer; will retry in 30 seconds....: Connection time out" または "Network host xxx.xxx.xxx.xxx is busy, down, or unreachable; will retry in 30 seconds..." が表示されます。	LPR	機器の電源が切れているか、正しく接続されていません。また、コンピューターから印刷を指示したあと、機器にデータを転送する前、および、データを転送中（USB、パラレル接続時のみ）に、機器の電源が切れたか、接続が解除されました。機器の電源が入っていること、およびケーブルで正しく接続されていることを確認してください。 その他の何らかの原因で、機器側でデータを受信できない場合にも、このメッセージが表示されます。機器の操作パネルにエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。
"Unable to open USB device*** : No such device" (*** には USB のデバイスの URI が表示されます)	USB	
"processing, accepting jobs".	パラレル	
"Spooling LPR job, xx% complete..." (xx は進捗状況を示す数値が表示されます)	LPR	LPR 接続時、コンピューターから印刷を指示したあと、機器にデータを転送中、機器の電源が切れたか、接続が解除されました。機器の電源を入れてください。

7. 想定される不具合

動作を確認した結果、発生した現象の一部を注意制限事項としてご案内します。
なお、下記事項以外の動作を保証するものではありません。

両面印刷時における制限事項

ページ数が奇数の文書を両面印刷で出力すると、オペレーティングシステム（以下 OS）の設定により最終ページの後ろに白紙ページが付加されることがあります。また、OS の種類にかかわらず、お客様が利用されるアプリケーションソフトウェアによっては、プリントする部数を指定するときの条件により、自動的にページ調整の白紙が挿入されることがあります。

この動作に関しては、アプリケーションソフトウェア側の仕様であり、本ドライバーまたは対象機種側でアプリケーションソフトウェアによる白紙挿入を回避する方法がありません。対象機種では、OS およびアプリケーションソフトウェアの仕様にしたがって、お客様がクライアント側で編集され、出力指示された原稿データを受信したデータどおりに出力します。

出力指示された原稿データに OS またはアプリケーションソフトウェアが挿入した白紙データが含まれている場合、お客様の出力指示に基づいて出力すべきデータとして、その白紙分もカウントアップの対象となります。

カラー機における白黒文書印刷時の制限事項

お客様が利用されるオペレーティングシステムやアプリケーションソフトウェアによっては、画面表示が白黒である場合でも、プロセスブラック（CMYK すべてを使用）で処理され、カラーで印刷されることがあります。

確実に白黒モードで印刷したい場合は、[カラーモード] を [白黒] に指定して印刷してください。

PDF ファイルを印刷する場合の制限事項

PDF ファイルを Adobe Reader から印刷する場合、プリンターでエラーが発生することがあります。

この場合は、印刷設定ユーティリティで設定した後に、下記のコマンドを使用して印刷してください。

`lpr -P <印刷キュー名> <PDF ファイル名>`

PDF ファイルを小冊子印刷で出力する場合の制限事項

PDF ファイルを Adobe Reader から印刷する場合、小冊子印刷が正しく印刷されないことがあります。

この場合は、印刷設定ユーティリティで設定した後に、下記のコマンドを使用して印刷してください。

`lpr -P <印刷キュー名> <PDF ファイル名>`

PostScript ファイルを印刷する場合の制限事項

PostScript ファイルをコマンドラインなどから印刷する場合、プリンターでエラーが発生することがあります。

この場合は、印刷設定ユーティリティで設定した後に、下記のコマンドを使用して印刷してください。

`ps2ps <PostScript ファイル名> | lpr -P <印刷キュー名>`

複数部数を印刷する場合の注意事項

アプリケーションで複数部数を指定した場合、アプリケーションがプリンタードライバーに指定した部数分の印刷を指示して、印刷のパフォーマンスが低下することがあります。

この場合は、アプリケーションでは部数を「1」に設定し、印刷設定ユーティリティで複数部数を指定することで、印刷パフォーマンスの低下を防ぐことができます。

ホチキスの位置に関する制限事項

ホチキス設定で指定する [1ヶ所] [左 2ヶ所] [上 2ヶ所] は、印刷する原稿の向きにかかわらず、縦向き原稿の位置を示します。

ファイル名に日本語を含むドキュメントを印刷する場合の注意事項

ファイル名に日本語を含むドキュメントを印刷すると、ジョブ履歴レポートで、日本語 (2 バイト文字) が " _ " (アンダースコア) に置き換わって出力されます。

印刷設定のとおり印刷されない場合の注意事項

アプリケーションによっては、印刷設定ユーティリティで指定した設定のとおり印刷されないことがあります。

この場合は、CUPS Web 管理サイト (<http://localhost:631>) で印刷設定を指定してから、アプリケーションで印刷してください。

ディストリビューションに関する制限事項

ディストリビューションによっては、用紙サイズの初期値が [Letter] になることがあります。

OpenOffice に関する制限事項

- ・ OpenOffice.org バージョン 1.0.x をお使いの場合、正しく印刷されないことがあります。OpenOffice のバージョンを 1.1.x にあげて、ご利用ください。
- ・ OpenOffice.org および StarSuite から [プレビュー印刷オプション] で複数ページ / 枚を指定した場合、正しく複数ページ割り付けされて出力されません。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you". Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends

on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
 - a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
 - b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
 - c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding

source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of

protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail. If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author

Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.

This is free software, and you are welcome to redistribute it

under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU

Library General Public License instead of this License.

Linux 用プリンタードライバー操作ガイド

発行者 日本電気株式会社

発行年月 2006 年 5 月 第 1 版

(管理 No. ME3615J9-1)